

# 英語科学習指導案

日 時 平成16年9月10日(金) 5校時

学 級 1年1組(男子20名 女子16名 計36名)

指導者 菅生賢一

## 1. 単元名 南半球からのメール

(東京書籍 NEW HORIZON English Course Book 1)

## 2. 単元の目標

- (1) 登場人物のオーストラリア人が日本が大好きで、俳句を学んでいることを本文から読み取ることができる。また、オーストラリアで多くの人に日本語が学ばれていることや日本とオーストラリアの季節が逆であることを知る。
- (2) 3人称単数現在形の動詞を含む文の形・意味を理解し、それをを用いて人について簡単な紹介をすることができる。
- (3) 3人称単数現在形の動詞を含む文の形・意味を理解し、それをを用いて人について尋ねたり、答えたりすることができる。

## 3. 単元について

本単元は、オーストラリアに住むマークの姉であるベッキーが話題の中心となる。マークが由美にアルバムを見せながら、姉であるベッキーについて紹介したり、ベッキーから届いたメールを見ながら、マークと由美が対話するという設定である。ベッキーが日本語が堪能で俳句を学んでいることや日本人の夫がオーストラリアで日本語を教えているということをしっかり読み取らせたい。そして、それらのことから、オーストラリアで多くの人に日本語が学ばれていることやその背景、また、オーストラリアの気候や風土、歴史について関心を深めさせたい。このような他国への関心は、国際理解に通じるものであるから、大切にしたい。

## 4. 単元の評価規準(別紙)

## 5. 生徒について

生徒は中学校で始まった英語学習に意欲的に取り組んでいる。「聞くこと」と「話すこと」の学習が、英語学習入門期において大切だと考え、授業中この2領域の活動を十分保障しながら進めていることから、授業中の発言が多く、音読も大きな声で一生涯懸命練習している。また、ペアワークやロールプレーの発表会などの活動にも積極的に取り組んでいる。「書くこと」については、家庭学習も含めて反復練習に取り組ませてきたが、中にはかなりの抵抗感を持ち、そのことが学習意欲の低下につながっている生徒もいる。したがって、個別指導を充実させていかなければならないと感じている。

単元の事前テストの結果から見ると、一般動詞については、既習の動詞を含む文の意味と形を理解しているのは28名、意味を理解しているが適切な使用についての理解が十分でないのは5名、理解が不十分であったのは3名。人称については、意味を理解し適切に書き表すことができたのが23名、意味を理解しているが書き表すことができなかつたのは10名、理解が不十分であったのは3名。したがって、特に、代名詞の使用についてあやふやな生徒が多いことから、復習が必要と考える。

## 6. 基礎・基本の定着を図るため留意していること

英語学習の入門期指導の重要性は誰しもが認めるところであろう。たくさん聞き、たくさん話すことを通じて、生徒1人1人に「自分も英語が話せる」という自信を持たせたいと思い、特に次の2点に留意して指導にあたっている。

1つ目は、基本文を何度も口頭練習させ、必ず全員に発表させ聞かせること。発表は1回きりだが、級友らの発表を30回以上は聞くことになるので、聞かせて定着を図りたいと考えている。

2つ目は、音読練習である。生徒が飽きずに繰り返すように工夫し、本文を暗唱させ、ロールプレー等の発表につなげる。

普段の授業で、基礎・基本の定着のために、このようなことに留意して取り組んでいる。

## 7. 本時について

### (1) 指導計画

① 1 人について紹介しよう	Becky likes Japan. . . . .	2 時間
		(本時 1 / 2)
② 2 メールを見て	Does she write haiku? . . . . .	2 時間
	Yes, she does.	
	No, she doesn't.	
③ 3 メールを見て	Becky does not use English. . . . .	2 時間
④ Listening Plus 2 外国からの友達	. . . . .	1 時間
⑤ Speaking Plus 3 道案内一乗り物での行き方を尋ねる・教える	. . . . .	2 時間
⑥ 単元の学習評価	. . . . .	1 時間

### (2) 指導にあたって

本時は、一般動詞の3人称単数現在形の肯定文の「聞くこと」「読むこと」に重点を置いて習熟を図りたい。導入段階では、既習事項である3人称代名詞と一般動詞の復習を行い、本時で扱う新出文の導入がスムーズに行われるようにしたい。展開段階では、教科書を中心とした音声面を重視した指導を行い、主語が3人称単数現在である説明は、既習事項をもちいて「IとYou以外で1人の時」や「うわさ話の時」のように最小限に留めたい。終末段階では、自己評価により学習を振り返る機会を設定し、今後の学習に対する課題意識をもたせていきたい。

(3) 本時の目標

- ①まとまった英文を聞き、その内容を日本語で説明することができる。(聞くこと)
- ②本文を暗唱することができる。(読むこと)

(4) 本時の評価規準と具体的評価規準

	評価規準	評価方法	Aの状況例	Bの状況例	Cへの手だて (支援)
聞くこと	3人称単数現在形の肯定文の意味と形が理解できる。 (理解)	本文の聞き取りをする場面 (情意面は教師による観察、知識面はワークシートによる)	ベッキーについての英文の概要を修飾語の内容も含めて日本語で正確に説明できる。	ベッキーについての英文の概要を日本語で説明できる。	・PCカードを用いて内容理解がスムーズに行われるようにする。 ・理解が困難な場合、教科書の絵に着目させベッキーの様子を推測させる。
読むこと	本文を暗唱することができる。 (表現)	ペアで練習する場面(教師による観察)、発表する場面(教師による観察)	イントネーションに注意して正しい発音で暗唱ができる。	正しい発音で暗唱することができる。	・単語練習の際意図的指名により練習の機会を与える。 ・机間指導をして読めない単語を援助する。

(5) 本時の展開

段階	学習内容	生徒の活動	指導の留意点・評価方法
導入 7	1 Warm-up (1) 挨拶  (2) 一般動詞の復習  代名詞の復習	1 Warm-up (1) 挨拶  (2) 絵を見ながら答える  代名詞を答える	・元気よく行う (観察)  ・新出文で取り上げる like、play、speak を使って行う (観察) ・He と She の使い分けを確認する (観察)
	2 新出文の聞き取り	2 オーラルイントロダクションを聞く	・生徒との対話から、その生徒について紹介する形で新出文を導入する (シート1)



(別紙) 4 単元の評価規準

単元名 Unit 6 南半球からのメール

単元の目標	技能・観点別評価規準の具体			
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<p>Unit6 南半球からのメール</p> <p>○登場人物のオーストラリア人が俳句を学んでいることを読み取ることができる。また、オーストラリアで多くの人々が日本語を学んでいることや日本とオーストラリアの季節が逆であることを知る。</p> <p>○3人称単数現在の動詞を含む文の形・意味を理解し、それを用いて人物について簡単な紹介をすることができる。</p> <p>○3人称単数現在の動詞を含む文の形・意味を理解し、それを用いて人について尋ねたり、答えたりすることができる。</p>	<p>L</p> <p>(言語活動への取組) ・モデルの発音や他の生徒の発表に注目するなど関心を持って聞こうとする。 (コミュニケーションの継続) ・理解できないとき、説明を求める。</p> <p>S</p> <p>(言語活動への取組) ・モデルの発音を聞いて、真似ながら新出文を話したり、言語活動で使おうとしている。 (コミュニケーションの継続) ・人物紹介をする4文程度のスピーチができる。</p> <p>R</p> <p>(言語活動への取組) ・人物紹介をするスピーチ原稿等を内容に関心を持って読み取りを行おうとする。また表現を工夫しながら音読しようとする。 (コミュニケーションの継続) ・理解できないところがあっても、推測するなどして</p>	<p>(正確な発話) ・会話の相手に第3者のことを紹介したり説明することができる。 ・ペアワークで疑問文とその応答文また否定文を作り、発話することができる。 (適切な発話) ・適切な速さや声の大きさを話することができる。</p> <p>(正確な音読) ・正確な発音や適切なイントネーションで本文を音読することができる。 (適切な音読) ・暗唱やスピーチをよりよいものにするために、音読練習に取り組む。</p>	<p>(正確な聞き取り) ・まとまった英文を聞いて、その内容を日本語で説明することができる。 (適切な聞き取り) ・聞いた内容について大切な部分を聞き取ることができる。</p> <p>(正確な読み取り) ・本文の内容を正しく読み取り、T o r Fテストでも正答することができる。 (適切な読み取り) ・書かれてある情報について大切な部分を読み取ることができる。</p>	<p>(言語についての知識) ・3人称単数現在形の肯定文の時、一般動詞の語尾にsもしくはesを伴う発音についての知識がある。 (文化についての知識) ・他国のことや、他国の人々の生活について理解している。</p> <p>(言語についての知識) ・3人称単数現在形の肯定文の時、一般動詞の語尾にsもしくはesを伴うことの知識がある。 (文化についての知識) ・人々のもの見方や考え方の違いについて理解している。</p> <p>(言語についての知識) ・正確な発音や本文のどこを強く読むのかについての知識がある。 (文化についての知識) ・オーストラリアで多くの人々が日本語を学んだり、季節が逆であることを理解している。</p>
	<p>W</p> <p>読み続けようとする。 (言語活動への取組) ・基本本文の口頭練習を元にして、正しい英語を丁寧に読みやすい字で書こうとしている。 (コミュニケーションの継続) ・表現できないところがあっても、調べたり聞いたりしながら書き続ける。</p>	<p>(正確な筆記) ・会話の相手に第3者のことを紹介したり説明するまとまった文を4文程度で書くことができる。 (適切な筆記) ・代名詞を使い、内容のつながりに注意して書くことができる。</p>		<p>(言語についての知識) ・文字や符号を適切に使い分ける知識がある。</p>
単元の目標	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化に関する知識・理解
<p>まとめの練習1 人について話そうー1</p> <p>○Be動詞及び一般動詞について復習し、理解を確かめる。</p>	<p>L</p> <p>(言語活動への取組) ・言語活動において、学んだ表現を使っている。</p>			<p>(言語についての知識) ・語句や文の使い分けがわかる。</p>
単元の目標	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化に関する知識・理解
<p>Listening Plus2</p> <p>○メモをとりながら、スピーチを聞き、その内容を正確に理解することができる。</p> <p>○第3者について聞き取った内容を元に、紹介することができる。</p>	<p>L</p> <p>(言語活動への取組) ・教師やCDの英語を聞いてうなずいたり、メモをとりながら聞こうとしている。 (コミュニケーションの継続) ・理解できないとき、説明を求める。</p> <p>S</p> <p>(言語活動への取組) ・間違いを恐れず、積極的にQ and Aにこたえようとしている。 (コミュニケーションの継続) ・他者を紹介するスピーチ</p>	<p>(正確な発話) ・第3者について聞き取った内容を元に、紹介することができる。 (適切な発話) ・適切な速さや声の大きさを</p>	<p>(正確な聞き取り) ・自己紹介スピーチの内容を正しく聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) ・聞いた内容について大切な部分を聞き取ることができる。</p>	<p>(言語についての知識) ・自己紹介スピーチを聞き取る時、一般的にどのような内容が話されるかについての知識がある。</p> <p>(言語についての知識) ・自己紹介に使われる様々な文を使うことができる。</p>

Unit 6 南半球からのメール

1 拓美くんとのお話を聞いて、( ) にあてはまる単語を書こう！

Sugo : I ( ) Hattori-kun.  
Do you like Hattori-kun ?

Takumi : Yes. I like Hattori-kun, too.

Sugo : Everyone, Takumi ( )  
Hattori-kun.

( ) に入る単語になにか ちがいは あったかな？  
菅生Tの発表を聞いて、キをとろう！

- 1) ベツキキーはマイクの ① ) です。
- 2) ベツキキーはオーストリアに ② ) 。
- 3) ベツキキーは ③ ) が ④ ) 好きです。
- 4) ベツキキーは日本語を ⑤ ) に ⑥ ) 。

3 ベツキキーの紹介文を暗記して発表しよう。さて、暗記する文の数は？

挑戦するレベルの数字を○でかこんでみて！！

レベル S 4つ以上すべて

レベル 3 3つ以上

レベル 2 2つ以上

レベル 1 1つ

4 今日のまとめ

1) 菅生Tの発表を聞いて書いたメモはどれくらい正解できたかな。ABCCのう  
ちどれかを○でかこも！

A 6こ B 5~4こ C 3こ以下

2) 暗記の時目標としたレベルは ( ) 実際にできたレベルは ( )  
つぎはどのレベルを目指したいですか。( )

3) どんな時に動詞にSがくんでしよう？ ( )

1年 組 名 南

単元の目標	をすることができる。	話すことができる。	表現の能力	理解の能力	言語や文化に関する知識・理解
Speaking Plus3  ○乗り物での行き方を尋ねたり、 教えたりすることができる。	L (言語活動への取組) ・道案内の会話や発表に関心を持って、要点に注目して聞こうとしている。 (コミュニケーションの基礎) ・理解できないとき、説明を求める。	(正確な聞き取り) ・道案内の対話文を正しく聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) ・聞いた内容について大切な部分を聞き取ることができる。	(言語についての知識) ・道案内に使われる様々な語句や文を知っている。		
	S (言語活動への取組) ・基本文をイントネーションに注意して真似し、練習しようとしている。 (コミュニケーションの基礎) ・道案内の表現を使うことができる。	(正確な発話) ・道案内の尋ねたり、教えたりする会話を行うことができる。 (適切な発話) ・適切な高さや声の大きさで話すことができる。		(言語についての知識) ・道案内に必要な表現の文構造についての知識がある。	